

開かれた議会 親まれる議会を目指して

伊丹 秋  
Autumn

市議会

だより

itami November.21, 2024 vol. 253

## CONTENTS

vol.253の主な内容

P.2~5... 代表質問

P.5 ..... 個人質問

P.6~7... 議案審査

P.7 ..... 議決結果

P.8 ..... 人事

市議会からのお知らせ  
委員会の視察報告  
会議の予定



伊丹市議会HP



伊丹市マスコット  
たみまる

各議員の質問等の動画をスマートフォン等で簡単にご覧いただけるよう、二次元コードを掲載しています。

(通信費は利用者負担になります。)

# 代表質問

令和6年第4回定例会(9月2日～10月11日)では、各会派を代表して6人の議員が会派代表質問を行い、市政全般にわたる運営や将来の方針などが問われました。その一部を紹介します。なお、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。

伊丹市議会 **検索**

市議会ホームページから3つの方法でご覧いただけます。

①会議録検索システム(12月上旬に掲載予定) 

②インターネット議会中継(ライブ・録画)

③代表質問・個人質問・一般質問・質疑の要旨

## 会派別議員一覧

伊丹市議会の会派構成は次のとおりです。

### ●公明党

代表 篠原 光宏  
北原 速男  
(副議長) 竹村 和人  
永松 敏彦  
松浦 晴美  
前田伸一郎

### ●新政会

代表 杉 一  
泊 照彦  
加藤 光博  
(議長) 戸田 龍起  
土井 秀勝  
花田康次郎

### ●伊丹維新の会

(監査委員) 代表 齊藤 真治  
大江ひろと  
森 華奈子  
鈴木 隆広  
原 直輝

### ●フォーラム伊丹

代表 山藪 有理  
保田 憲司  
大津留 求  
岸田真佐人  
高橋 あこ

### ●創政会

代表 川井田清香  
鈴木久美子  
新内 善雄

### ●日本共産党 伊丹市議会議員団

代表 服部 好廣  
加柴 扶美

### ○会派に属さない議員

高塚 伴子



公明党 

永松 敏彦 議員

### 0歳から2歳までの 第2子保育料無償化事業

**問** 令和5年9月から、1家庭で子ども2人以上が同時に保育所等を利用する場合に、0歳から2歳までの第2子に係る保育料の無償化を実施しているが、本事業の執行状況について伺う。

**答** 市は、全ての子どもの育ちと子育て家庭を支援し、一人ひとりの子どもが健やかに成長できるよう、子育て支援施策の充実を図っている。本事業は、保護者の経済的負担を軽減するため、子ども2人以上が同時に就学前施設に通う場合、所得状況にかかわらず年齢の高い順に数えて2番目となる0歳から2歳までの児童の保育料

を無償化する等のものである。令和5年度の7か月間で、655人に対し約1億1,000万円の保育料を無償化し、これは1年間に換算すると、約1億9,000万円の事業規模となる。引き続き事業を実施し、子育て家庭を支援していく。



保育の様子

### 産後ケア事業の評価

**問** 母体の回復や育児指導を目的とした産後ケア事業が実施可能な施設と利用状況について伺う。

**答** 産後ケア事業が実施可能な施設は、今年度さらに市外3施設を増加し、宿泊型5施設、通所型3施設

に拡充している。利用者数は、令和5年度で、宿泊型が40人、通所型が60人、合計100人に増加した。令和6年9月10日時点での利用申請者数は160人と、昨年同時期を上回っており、本年8月末時点の利用実績は、宿泊型で41人、通所型で54人となっている。利用者アンケートでは、9割以上の方が満足したと評価し、約6割の方が育児不安を解消できたと回答している。また、複数

回の利用希望が一番多く、まずは希望される誰もが1回は利用できるよう、環境整備をしていく。利用時期は、生後0か月から2か月までの間が多く、利用者は、助産師によるケアや助言により安心して日々の育児に戻ることができているようである。

今後も利用者からの意見等も踏まえ、安心して子育てができるよう事業実施に取り組む。

伊丹維新の会 

鈴木 隆広 議員

### 介護保険料の今後の見通し

**問** 実質単年度収支の赤字により介護保険料の引上げを行ったが、

今後の見通しを伺う。

**答** 市は、3年ごとに介護保険事業計画を策定し、必要な介護給付費等を算定したうえで、それに見合

### 市バスの運営 ～赤字解消に向けた取組～

**問** 本年2月に値上げの運賃改定を実施したが、以後も赤字が続いている。赤字解消に向けた経営計画と今後の運賃改定について見解を伺う。

**答** 令和2年度に、新型コロナウイルス感染症の影響により乗客数が激減する中、企業努力で対応できなかった赤字部分の補助として3億円を一般会計から繰り入れ、また、突発的な収益悪化に対して資金不足が生じな

いよう財政的基盤の強化・安定化を目的として一般会計から5億円の出資を受けた。一方、乗客数減少への対応として、同年、減便を実施し、経費の圧縮に努めるとともに、令和5年には全面ダイヤ改正を行い、路線運行の効率化と、さらなる経費圧縮を図った。しかし、長引くコロナ禍による影響が大きく、本年2月に運賃改定を実施した。市交通局では、運賃改定に係る効果検証が必要であり、他事業者のさらなる運賃改定の予定や公共交通維持に向けた取組を参考に、人件費、燃料費など経営に必要な経費の縮減といった企業努力を着

### 想定外の避難者対応

**問** 災害発生時に、想定以上の避難者が避難所に避難してくることや、指定避難所以外に避難する方がいる場合の対応策について伺う。

**答** 各避難所で想定数以上の避難者がある場合は、学校の特別教室等を利用する計画としている。また、状況に応じて避難所を追加開設する場合は、避難者の了解を得て、必要に応じ、市バス等により移送することも計画している。さらに、指定避難所に指定して

### スポーツ施設の在り方と 空調設備の整備

**問** 現在、市スポーツ施設は、市スポーツ推進計画にある「するスポーツ」が満足にできない環境にある。①市スポーツ推進審議会で、施設等の課題が議論されているが、その内容は。②社会体育施設のうち体育館施設には空調設備がない。夏には競技ができないほどの環境になっており、施設改修や充実化が求められているが、見解は。

**答** ①市スポーツ施設の老朽化への対応が急務となっていることから、市は6月に市スポーツ推進審議会に対し、スポーツ施設全体の適正化、ストックマネジメントについて諮問した。同審議会では、民間施設や学校施設等のさらなる有効活用、将来世代等の市民ニーズへの対応、選択と集中、長寿命化を見据えた施設整備などに関して議論されており、市は、11月末に答申を受ける予定である。②夏場のスポーツ環境対策は必須であり、現在、審議中

いない生涯学習施設や文化施設を補助避難所として定め、これを開設してもなお不足がある場合は、県等が指定するホテル等、民間宿泊施設を活用する計画としている。発災直後は、被害の概要及び避難者の状況把握のためにも、まずは市が開設する指定避難所への避難を誘導するが、避難生活の長期化が想定される場合には、能登半島地震の事例を参考に、市外のホテルや公営住宅等指定避難所以外への避難にも適宜対応したい。

のスポーツ施設の整備方針を検討する中で議論していきたい。併せて、国の有利な財源の活用や施設使用料の在り方も検討していきたい。



伊丹スポーツセンター

う介護保険料を算出しているため、令和6～8年度を計画期間とする介護保険料の変更はない。しかし、高齢化率は年々上昇している状況であり、現計画期間中に必要となる介護給付費は、前計画期間の実績額よりも約100億円増加すると見込んでいる。次期以降の計画期間においても、介護給付費の上昇が見込まれることから、介護保険料の引上げは必要になると考えている。

実に進めつつ、収入の根幹となる乗車料の増収策を図ることが重要と考える。今後も交通事業を取り巻く環境は厳しい状況が見込まれるが、様々な収支改善策や需要喚起策等に取り組み、経営努力を積み重ねる。



電気バス



大津留 求 議員



### 日本語教室の意義と今後の役割

行政が日本語教室に取り組む意義や、今後どのような役割を担っていくべきか、見解を伺う。

市は、伊丹ユネスコ協会、伊丹市国際・平和交流協会との共催で、外国人を主な対象者とした3つの

日本語教室を開催しており、現在、約40人の学習者と30人のボランティアが参加している。各教室は、開設当初より実生活に即した内容や、日常生活に必要な日本語の習得を目的として、長年にわたってボランティアや講師の方々の熱心な取組により、地域の中で日本語を学ぶ場としての役割を果たしてきた。地域の日本語教室に行政が関わり充実を図ることは、市の目指す多文

化共生社会の実現に向けて意義深いことと考える。今後も生活のための日本語を学ぶ場であり続けるとともに、外国人市民が日本人市民とコミュニケーションを取り合い、地域の一員として社会参加につながる場所として、重要な役割を担うものとする。



日本語教室の様子

### 近畿中央病院跡地への民間医療機関誘致の取組

今年度、市が取り組んだ医療機関事前アンケートなど現状の取組と、今後のスケジュールを伺う。

市は、本年7月、阪神医療圏域内の公立病院など、一部を除いた20床以上の病床を有する医療機関

に対してアンケート調査を実施した結果、近畿中央病院の「跡地活用に興味・関心がある」、「建築物の利用を検討する」との回答があり、回答した医療機関へのヒアリングを実施した。この調査結果の概要をはじめ、統合新病院整備工事の進捗状況を報告するため、来年2月に住民説明会の開催を予定している。

る。また、次年度以降の土壌調査や売却方法及び条件の整理、入札方法の検討等を早期に進めることができるよう、公立学校共済組合に対し、他自治体での実施事例やコンサルティング事業者からの資料等を提供した。近畿中央病院跡地をできる限り早期に民間医療機関へ売却できるよう、市と公立学校共済組合が協力して取り組んでいく。



鈴木 久美子 議員



### 特別支援教育における支援の場と相談支援体制

小・中学校で特別支援教育を必要とする児童生徒が増加傾向だが、①一人ひとりに合った学び、支援の場とするための対応方法と、②保護者への相談体制の現状・周知方法は。

①市は、連続性のある多様な学びの場の整備を図っている。また、児童生徒の教育的ニーズの変化に継続的・適切に対応するため、在籍校で一人ひとりの発達の程度や学習状況等を評価・確認し、必要に応じて市教育支援委員会で学びの場の変更や転学について柔軟に検討している。さらに、支

援の必要な児童生徒一人ひとりの障がいの状況等に応じて個別指導計画の作成及び活用を推進するとともに、教育課程を工夫し、教育活動全体を通じた自立活動の学習の充実を図っている。②学校担任が行う個人懇談や、保護者が申し込む総合教育センターの発達相談、市立特別支援学校の教育相談等がある。また、各学校で相談を受けた場合は、保護者や児童生徒のニーズに応じて、県立・市立特別支援学校、総合教育センター、こども発達支援センター「あすばる」等の関係機関につないでいる。

### 使いやすい路上駐輪ラックの整備

路上駐輪ラックからロックを解除して自転車を取り出す作業は、後方の通行者に接触する可能性もあり危険で、高齢者や子ども等の力の弱い方には難しく、トラブルの場面に遭遇することがある。誰にでも使いやすい路上駐輪ラックの整備に向けた見解について伺う。

ラックの特性上、自転車を斜めに駐車するなどの状態により開錠しづらい場合がある。利用者が手間取ることなく円滑に出庫できるよう、わかりやすい出庫方法等の掲示を検討する。また、現在の管理運営事業者との協定期間が来年度末に終了するため、来年度中に新たな事業者を募集し、ラックの更新及び管理運営を行う予定である。現状では、自転車の入出庫について扱いづらい等の意見もあり、新たな

事業者選定に際しては、必要な台数の確保とラックの使いやすさのバランスに配慮した整備ができるよう検討する。



路上駐輪ラック



服部 好廣 議員



### 市長としての平和への考え

再び戦争の惨禍を引き起こさないために、伊丹市長としての平和への考えについて伺う。

伊丹市長として、伊丹市民の命を守ること、安全・安心を守ることが何よりも大切であると考えてい

る。本市で様々な課題もあるが、市民の安全・安心を守ることが市政の一丁目一番地だと申し上げてきた。そのためには日本の国が平和であることが大前提だということも、常々申し上げてきたが、実際に世界の国々で起きている争いによって、日常生活が破壊され、多くの命が失われているのを目の当たりにし、ますますその思いを強くしている。国の安全保障に関する国家間の関

### 大阪・関西万博への児童招待

本年7月に、2025年日本国際博覧会協会から市教育委員会及び学校を対象に行われた大阪・関西万博来場に当たっての基本情報や会場内の安全対策に関する説明に対する懸念内容と、教育的観点から同万博に行く

ことの意義を伺う。

現時点では、来場時の基本情報や会場内の安全対策について、大まかな説明がなされたものであり、詳細は、県万博子ども招待プロジェクト事務局や、公式サイト等から、随時、情報提供される中で明らかとなるため、はっきりとした懸念内容及びその解決

係や外交の問題は、国の専管事項として対応されるべきものとするが、市民の命を預かり、平和都市宣言のまち伊丹の市長として、世界の平和を強く祈念し、戦争の悲惨さ、人が生きるための大本である平和の尊さを市民に伝えていく取組を引き続き推進していく。



平和都市宣言の碑

策を述べることは難しい。また、同万博に行くことにかかわらず学習指導要領の遠足・集団宿泊的行事においては、平素と異なる生活環境にあって、見聞を広めたり文化などに親しむことが示されている。教育現場では教科書の内容を学ぶだけでなく、様々な体験を通して主体的に学び、考える力を育てることが重要であると捉えている。

## 個人質問

代表質問のほか、16人の議員が個人質問を行いました。ここでは、質問の項目のみを紹介します。代表質問同様、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。



**公明党**

**北原 速男 議員**

- 大規模災害の発生に備えた体制と整備
- スポーツ施設における空調設備
- 伊丹空港を活かしたまちづくり

**篠原 光宏 議員**

- 統合新病院整備工事の進捗状況
- 中学校部活動の地域移行

**松浦 晴美 議員**

- 市民の命を守る救命救急とAED
- プレコンセプションケアの推進

**前田伸一郎 議員**

- がん治療で発症する「リンパ浮腫」のケア体制
- いじめ・自殺防止、不登校問題対策の構築

**伊丹維新の会**

**森 華奈子 議員**

- ぎょうぎ温泉
- シルバー人材センターの運営
- ボランティア活動

**原 直輝 議員**

- 人生会議の認知と新たな取り組み
- 若年層による引きこもり

**創政会**

**川井田清香 議員**

- 生活道路の法定速度時速30キロの引き下げ
- 職員の中途採用
- 子ども・若者の薬物乱用

**新内 善雄 議員**

- ガバメントクラウドへの移行状況等
- 中学校部活動の地域移行の進捗状況等

**新政会**

**泊 照彦 議員**

- インクルーシブ公園拡大の必要性
- 地方公務員の魅力づくり
- 女性弁護士等の市職員への登用
- 消防本部の通信指令業務の広域化
- 医師会からの要望書の実現
- 駄六川の浚渫
- ワクチン接種の後遺症
- 児童くらぶ

**花田康次郎 議員**

- 介護保険施設等への運営指導、監査
- 事業者応援お楽しみギフト事業

**フォーラム伊丹**

**保田 憲司 議員**

- 隠れ教育費
- 高齢者保健福祉計画
- 介護保険事業計画

**山藪 有理 議員**

- 吃音
- 持続可能な市営バスを目指して

**岸田真佐人 議員**

- 不登校対策支援員の継続
- 不登校対策支援に民間団体との協働を
- 教科書展示期間の延長
- カスタマーハラスメント対策
- JR北伊丹駅周辺に喫煙スポットを

**高橋 あこ 議員**

- 統合新病院の今後
- 公民をつなぐビジネスチャット
- 夏休みの子どもの居場所
- 若者の居場所

**日本共産党伊丹市議会議員団**

**加柴 扶美 議員**

- 医療的ケア児を受け入れる体制作りと現状
- 公共交通
- 教職員の労働環境改善と安全衛生委員会の役割

**会派に属さない議員**

**高塚 伴子 議員**

- 小中学校の特別支援学級
- 都市計画道路伊丹緑ヶ丘線

# 議案審査

令和6年第4回定例会では、**議案は46件**でした。  
 ここでは、専決処分報告を除く全議案と、これらの議案が付託された4つの委員会の内容をご紹介します。  
 なお、議案名の横にA～Eとあるのは、賛否が分かれた議案です。各議員の賛否は7ページの議決結果をご覧ください。

## 総務政策常任委員会

○令和6年度 一般会計補正予算

**22億5,106万7千円を追加補正**

- 令和5年度の決算剰余金を活用し、市内の施設の改修等が実施されます。
- ◆**まちの安全・快適**
    - ・三軒寺前広場の舗装改修、障害者福祉センター外構舗装の改修、また区画線の再塗装等による道路の維持保全が実施されます。
    - ・都市公園・児童遊園地における遊具の更新・再塗装及びフェンス・園路舗装の更新等が実施されます。
    - ・特殊詐欺被害防止に効果的な自動録音機能付電話機等の購入費用が高齢者に引き続き補助されます。
  - ◆**教育DXの推進**
    - ・児童・生徒に1人1台導入したタブレット端末について、全端末の更新が令和7年度に実施されます。

- その他の議案**
- 教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部改正
  - 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

## 文教福祉常任委員会

- 令和6年度 国民健康保険事業特別会計補正予算
- 令和6年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算
- 令和6年度 介護保険事業特別会計補正予算
- 国民健康保険条例の一部改正 **A**
- 地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 物品の取得(2件)

## 都市企業常任委員会

- 令和6年度 病院事業会計補正予算
- 共同利用施設等条例の一部改正
- 市道路線の認定
- 令和5年度 水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- 令和5年度 工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- 令和5年度 下水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- 令和5年度 モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分
- 「選択的夫婦別姓の導入へ、一日も早い民法改正を求める意見書」を国に上げること求める請願 **B**

## 決算審査特別委員会

○令和5年度 一般会計歳入歳出決算 **C**

**一般会計決算規模は 歳入約905億円、歳出約890億円**

令和5年度一般会計歳入決算額は904億9千万円で、前年度比40億円減(4.2%減)となっています。市税は企業業績の伸び等による法人市民税の増や、給与収入の増等による個人市民税の増、家屋の新増築等による固定資産税の増等により、11.9億円増加しました。諸収入はモーターボート競走事業益金収入の増等の一方、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助や過年度雑入の減等により、8.1億円減少しました。市債は新庁舎整備事業債や新保健センター等複合化施設整備事業債、臨時財政対策債の減等により、42.2億円減少しました。

また、一般会計歳出決算額は890億4千万円で、前年度比43.6億円減(4.7%減)となっています。扶助費は電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の減等の一方、住民税非課税世帯等臨時特別給付金や子育て世帯生活支援特別給付金、低所得世帯(こども加算)臨時特別給付金等、障害福祉サービス費等、保育所保育委託料、施設型給付費等の増等により、23.1億円増加しました。補助費等は統合新病院整備事業に伴う病院事業会計への補助や臨時交付金補助事業、過年度国県等返還金(前年度に概算で交付を受けていた補助金の返還)の減等により、28.2億円減少しました。普通建設事業債は新庁舎等整備事業、新保健センター等複合化施設整備事業、サンシティホール大規模改修工事の減等により、55億円減少しました。

議会では本会議から委員会に議案を付託して、詳細な審査をするんだ。  
 3つの常任委員会と分科会を設置した決算審査特別委員会で審査が行われたんだ。



### その他の議案

- 令和5年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- 令和5年度 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
- 令和5年度 介護保険事業特別会計歳入歳出決算
- 令和5年度 鴻池財産区特別会計歳入歳出決算
- 令和5年度 荒牧財産区特別会計歳入歳出決算
- 令和5年度 新田中野財産区特別会計歳入歳出決算
- 令和5年度 病院事業会計決算
- 令和5年度 水道事業会計決算
- 令和5年度 工業用水道事業会計決算
- 令和5年度 下水道事業会計決算
- 令和5年度 交通事業会計決算
- 令和5年度 モーターボート競走事業会計決算



総務政策分科会(9月25日・26日)

- 構成員**
- 泊座長 大江副座長
  - 杉分科員 保田分科員
  - 服部分科員 松浦分科員
  - 新内分科員 鈴木(隆)分科員



文教福祉分科会(9月27日・30日)

- 構成員**
- 鈴木(久)座長 岸田副座長
  - 篠原分科員 高橋分科員
  - 花田分科員 加柴分科員
  - 前田分科員 森分科員



都市企業分科会(10月1日・2日)

- 構成員**
- 永松座長 山蘭副座長
  - 加藤分科員 北原分科員
  - 高塚分科員 大津留分科員
  - 川井田分科員 土井分科員
  - 原分科員

### 委員会付託なし

- 南児童くらぶ整備工事の請負契約
- 旧博物館解体工事の請負契約の一部変更契約
- 人権擁護委員候補者の推薦
- 鴻池財産区管理委員の選任(7件)
- 議会会議規則の一部改正
- 多様な人材の地方議会への参画促進を求める意見書 **D**
- 公立学校教員の長時間労働是正を求める意見書
- 選択的夫婦別姓制度の導入に向けた一日も早い民法改正を求める意見書 **E**

# 議決結果

議案は、委員会審査のあと本会議で議決されます。  
 第4回定例会の**議案46件**全てが**可決・認定・承認・採択**されました。



**議案 27件** **意見書 3件**  
**報告 14件** **請願 1件**  
**諮問 1件**

### 賛否の分かれた議案

- A** 国民健康保険条例の一部改正
- B** 「選択的夫婦別姓の導入へ、一日も早い民法改正を求める意見書」を国に上げること求める請願
- C** 令和5年度 一般会計歳入歳出決算
- D** 多様な人材の地方議会への参画促進を求める意見書
- E** 選択的夫婦別姓制度の導入に向けた一日も早い民法改正を求める意見書

会派名	A	B	C	D	E
<b>議員名</b>	可決	採択	認定	可決	可決
<b>公明党</b>					
北原 速男	○	○	○	○	○
篠原 光宏	○	○	○	○	○
竹村 和人(副議長)	○	○	○	○	○
永松 敏彦	○	○	○	○	○
松浦 晴美	○	○	○	○	○
前田伸一郎	○	○	○	○	○
<b>新国会</b>					
泊 照彦	○	×	○	○	×
加藤 光博	○	×	○	○	×
杉 一	○	×	○	退	×
戸田 龍起(議長)	—	—	—	—	—
土井 秀勝	○	×	○	○	×
花田康次郎	○	×	○	×	×
<b>伊丹維新の会</b>					
齊藤 真治(監査委員)	○	○	○	×	○
大江ひろと	○	○	○	×	○
森 華奈子	○	○	○	×	○
鈴木 隆広	○	○	○	×	○
原 直輝	○	○	○	×	○
<b>フォーラム伊丹</b>					
保田 憲司	○	○	○	○	○
山蘭 有理	○	○	○	○	○
大津留 求	○	○	○	○	○
岸田真佐人	○	○	○	○	○
高橋 あこ	○	○	○	○	○
<b>創国会</b>					
川井田清香	○	×	○	○	×
鈴木久美子	○	×	○	○	×
新内 善雄	○	×	○	○	×
<b>日本共産党伊丹市議会議員団</b>					
服部 好廣	×	○	×	×	○
加柴 扶美	×	○	×	×	○
<b>会派に属さない議員</b>					
高塚 伴子	○	○	○	○	○
○…賛成 ×…反対 退…退席 —…議長は表決に加わりません。					

# 人事

9月定例会において、次の方々に同意しました。(敬称略)

- ▽人権擁護委員候補者 田中いづみ
- ▽鴻池財産区管理委員 松原 眞一 松原 純一
- 前田 義宣 荒東 修
- 橘 一弘 松原 昌昭
- 寺井 章

## 市議会からのお知らせ

### オンラインによる委員会の開催方法を決定。

昨年11月、戸田議長より、杉議会運営委員会委員長に諮問された事項について、本年7月、答申がなされました。この答申に基づき、災害時等に限り委員会をオンラインの方法により開催できるよう、9月定例会において議会会議規則の改正等を行いました。



答申の様子

### 議員定数のあり方を議論しました。

10月8日に、篠原議会改革検討特別委員会委員長より、戸田議長に対して、同委員会において議員定数のあり方について議論を進めたが、意見を一つにまとめることは困難との結論が出されたことの報告が行われました。

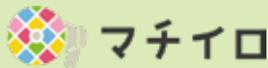


報告書の提出

### 議員の寄附やあいさつ状は禁止されています。

議員は、選挙区内の人(法人、その他の団体を含む。)に対して、祭りなどへの寸志・差し入れ・お祝いなどの寄附や、年賀状・暑中見舞いなどの時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く。)を出すことが、公職選挙法により禁止されています。また、議員に対する寄附の勧誘や要求も禁止されています。公正な政治活動をしていくために、ご理解とご協力をお願いいたします。

アプリ「マチイロ」で伊丹市議会だよりを  
ご覧頂けます



※アプリのダウンロード・利用は無料ですが、通信費は利用者負担になります。また、アプリの管理は運営会社によるものです。

視覚障がいのある方を対象に、「朗読ボランティアグループ 玉手箱」の皆さんの協力により、市議会だよりを朗読録音したCDを提供しています。希望される場合は、伊丹市立障害者福祉センター(アイ愛センター)へお申し込みください。

☎072-772-0221 ☎072-780-2897

## 委員会の視察報告

### 飛行場問題対策特別委員会

(8/21) 大阪国際空港  
「空港運営」



大阪国際空港

### 議会運営委員会

(8/22) 千葉県 柏市  
「オンラインによる委員会・議員の自由討議・反問権・議会改革の取組」



我孫子市

(8/23) 千葉県 我孫子市  
「反問権・議会基本条例の検証・議会改革の取組」

### 市立伊丹病院検討特別委員会

(10/21) 愛媛大学医学部附属病院  
「地域災害拠点病院としての役割・働き方改革」



愛媛県立中央病院

(10/22) 愛媛県立中央病院  
「愛媛県ドクターヘリ基地病院・基幹災害拠点病院としての役割・働き方改革」

### 議会改革検討特別委員会

(10/22) 福岡県 八女市  
「市民との意見交換会の実施」



鹿児島市

(10/23) 鹿児島県 鹿児島市  
「本会議における発言通告制度・反問及び議員間討議の導入・委員会所管事務調査の活性化」

### 都市企業常任委員会

(10/29) 兵庫県 尼崎市内  
「事業及び施設概要」



ポートレース尼崎

※詳細は、市議会ホームページでご覧いただけます。

## 会議の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27	28	29	30
			議会運営委員会			
12/1	2	3	4	5	6	7
	第5回定例会 本会議招集日 議員総会			本会議第2日 一般質問	本会議第3日 一般質問	
8	9	10	11	12	13	14
	本会議第4日 一般質問	議会運営委員会 本会議第5日 一般質問 議案質疑		総務政策 常任委員会	文教福祉 常任委員会	
15	16	17	18	19	20	21
	都市企業 常任委員会				議会運営委員会 本会議最終日 議員総会	

請願・陳情の受付は随時行っています。あなたの声を伊丹市議会へ。

【伊丹市議会だより】編集発行：伊丹市議会事務局議事課 〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地(市役所3階)

☎072-780-4090 ☎072-784-8092 ☎http://www.city.itami.lg.jp/

伊丹市議会だよりは86,400部作成し、印刷費は1部あたり7.98円です。